東京音楽大学リポジトリ
Tokyo College of Music Repository

音楽教育家エミリー・ソフィア・パットン

メタデータ	言語: ja
	出版者:
	公開日: 2004-12-20
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 武石, みどり
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://tokyo-ondai.repo.nii.ac.jp/records/828

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.

音楽教育家エミリー・ソフィア・パットン

武石　みどり

はじめに

イギリスからオーストラリアに渡り，音楽教育家として活動していたエミリー・ソフィア・パットン Emily Sophia Patton（1831－1912）は，1889（明治22）年から1901（明治34）年まで横浜に滞在して主に居留地の外国人を対象とした音楽教育に当たり，その後10年間上海で活動したのち，横浜で80歳の生涯を終えた。当時イギリスを発信地として普及していた歌唱・読譜指導法「トニック・ソルファ」を体系的に指導し，東洋音楽学校（現東京音楽大学）の創立者鈴木米次郎に影響を与えるとともに，一時的に東京音楽学校（現東京芸術大学）でも教鞭を執った。

パットンに関する研究を最初に手がけたのは，長年日本に滞在したオーストラリア人ハロルド・S・ウィリアムズ Harold S. Williams である。彼は日濠交流史の視点から論考（Williams 1975）を発表し，その研究の基となった資料は，彼の死後「ハロルド・S・ウィリアムズ資料」としてオーストラリア国立図書館とニューサウスウェールズ州立図書館に収められた。これを基に，ロビン・S・スティーヴンス Robin S. Stevens が音楽教育学の立場から論考を発表している。(Stevens 2000)　日本側の研究としては，横浜の演劇・音楽について資料研究を行った升本匡彦の著作の中で言及されているにすぎない。(升本 1978；升本 1986)

本研究では，以上の先行研究を検討するとともに，横浜で刊行された英字紙の記事，およびパットン夫人の蔵書として伝えられる書籍・雑誌・楽譜の内容を基にして，彼女の横浜滞在中の業績のうち，1．トニック・ソルファを横浜で紹介した経緯，2．現存する蔵書の概要とそこから推測される指導内容，および3．著述家としての活動，の三点について明らかにするものである。

1．トニック・ソルファの紹介

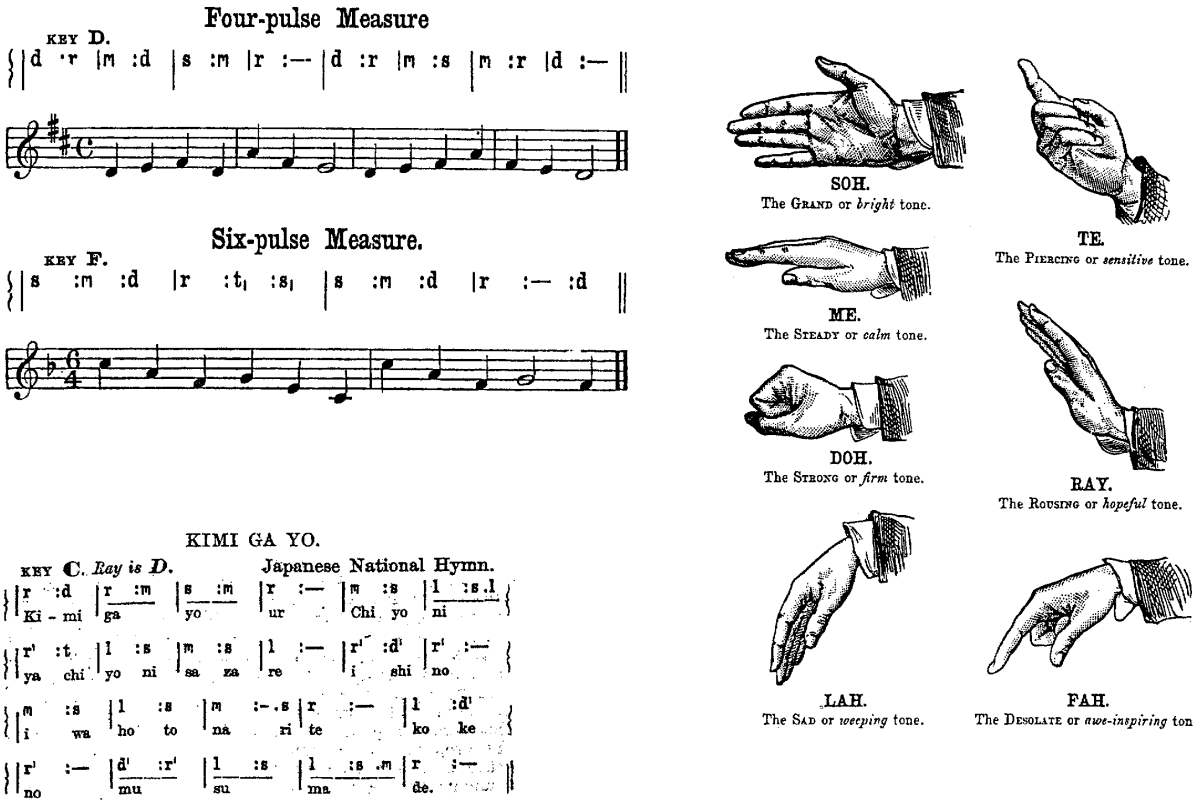
1.1　オーストラリアでの教育活動

パットンは1831年にロンドンで生まれ，12歳の時にニュージーランドに移住，2年後にオー

ストラリアへと移った。22歳で結婚するが5年後に夫と死別，2年ほど演劇活動をしたのち30歳で再婚して一男一女を得た（Forde 1912；Williams 1975：59-60；Stevens 2000：41）。子供に手がかからなくなった1870年代の半ばから音楽を教え始めたと思われる。その経験に基づき，1880年には著書 *Harmony Simplified for Popular Use：An Original Method of Applying the First Principles of Harmony to the Object of Accompanying the Voice on the Pianoforte*（オーストラリア国立図書館所蔵）を出版した。この本は，声楽を伴奏する際にピアノで簡単に和声づけする独自の方法を示したもので，トニック・サブドミナント・ドミナントの和声機能をそれぞれ黄・青・赤の色で表している点が特徴である（Stevens 2000：41－42）。

1879年頃からメルボルンでラファエル・ベンジャミン Raphael Benjamin に，次いでサムエル・マクバーニー Samuel McBurney にトニック・ソルファの指導を受けた（Stevens 2000：43）。**例1**に示したとおり，トニック・ソルファは五線譜とは異なり，文字あるいは手の形（ハンドサイン）によって音を表す記譜・読譜の方法である。ドをｄ，レをｒ，ミをｍ，ファをｆ，ソをｓ，ラをｌ，シをｔ，あるいはそれぞれを独自の手の形で表す。移動ド唱法によりすべてが階名で表され，音名を用いないために，階名と音名の混同という問題が生じない。調性の音楽を表すのに有効であり，また特に賛美歌や学校唱歌など簡易な声楽曲の指導をするのに効果的な方法である。生徒たちは，drmfslt のアルファベット，あるいは先生が示すハンド

ソルファ譜と五線譜　　ハンドサイン



例1　ソルファ譜とハイドサイン

表1　パットン所蔵の雑誌

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	タイトル	出版地	出版年
	Tonic Sol-fa Reporter No.134 & 145	London	1864/1, 12
16138－	*Tonic Sol-fa Reporter*	London	1871－1878
－16155	*Tonic Sol-fa Reporter*	London	1880－1888
16134－16137	*Tonic Sol-fa Advocate*	New York	1881－1885
16114－	*Musical Herald and Tonic Sol-fa Reporter*	London	1889－1890
－16133	*Musical Herald*	London	1891－1909
	Musical Herald No.526	London	1892/1

サインを見るだけで容易に歌うことができ，音部記号や調号・臨時記号によって何通りもの読み方が可能な五線譜の煩雑さから解放されることになる（東川 1983：167－230）。

表1に示したとおり，東京芸術大学には，もともとパットンが所蔵していた数種類のトニック・ソルファ関係の逐次刊行物が，1871年から1909年まで，1879年の分を除くとほとんど連続するかたちで現存している。このうち一番出版年の早い *Tonic Sol-fa Reporter* は，1870年代のものはまとめて製本されており，後から購入したものである可能性があるが，1880年以降のものは毎号それぞれに郵送された形跡が明瞭に残っており，毎月購読していたものと推測される。1880年3月にはベンジャミンの門下生としてロンドンのトニック・ソルファ・カレッジから初級理論証書を取得，5月には中級理論証書と中級証書を取得した。（*Tonic Sol-fa Reporter* 1880/3：67；1880/5：114-115）中級取得後は，自らもトニック・ソルファの指導を始めたのであろう。9月には，最初の二人の生徒，ブロクサム嬢とウォーカー氏が初級理論証書を取得，以後続々と生徒が証書を取得した記録が残っている（*Tonic Sol-fa Reporter* 1880/9：213; 1880/10：233；1882/12：283；1883/7：123；1885/1：14；1886/11：456：1887/8：189）。

1.2　来日直後のトニック・ソルファ論争

トニック・ソルファの指導者としての活動が軌道に乗った頃，1886年には息子の死，1887年には父の死，1888年には夫の死と，3年立て続けに家族を失い，パットンに転機が訪れた（Forde 1912；Stevens 2000：43）。トニック・ソルファの普及をキリスト教の伝道とダブらせ，トニック・ソルファ未採用国への開拓を伝える *Tonic Sol-fa Reporter* 誌に触発されたのであろうか。1889年8月，58歳のパットンは，一人残された娘グェンドリン Gwendoline とともに新天地日本に移住した。神戸を経由して横浜の山手63番に居を定めると，すでに9月7日に英字紙にピアノ，和声，音楽理論，分析，トニック・ソルファとダンスの教授広告を掲載している[1]（*Japan Gazette* 1889/9/14：4；1889/9/23：3；1889/10/5：4；1889/10/18：3）。

折よく，9月20日に横浜のフェリス英和女学校（現フェリス女学院）の講堂ヴァン・スコイック・ホールで宣教師ジョージ・オルチン Goerge Allchin がトニック・ソルファ紹介の講演

を行った。オルチンの講演では，日本人に声楽を教えるためにさまざまな方法を試してきた結果，トニック・ソルファで好成果が得られたことが報告され，東京音楽学校に対して，初心者クラスの指導者として外国人音楽教師を雇うこと，さらに指導方法としてトニック・ソルファを採用することを提言している（*Japan Gazette* 1889/9/21：3；*Japan Weekly Mail* 1889/9/28：291)。この提言は，東京音楽学校関係者との間に英字新聞上で「トニック・ソルファ vs. 五線譜」の論争を引き起こした。

資料1に示したとおり，ジャパン・ガゼット紙に投稿した「日本の音楽教師」は，音楽取調掛がトニック・ソルファを充分検討して修正したかたちで採用していると主張し，伊澤修二と音楽学者エリスとの関係についても明らかにしている。彼の主張にあるとおり，東京芸術大学図書館には *Music Theory, Teacher's Manual, The New How to Observe Harmony, The Sol-fa Method of Singing at Sight* の4冊のトニック・ソルファ関係書籍が音楽取調掛時代の蔵書として現存しており（東京芸術大学附属図書館 1969：13, 16, 29, 47)，また伊澤とエリスの間に手紙のやりとりがあったことも確かである[2]。エリスの手紙の内容までをも示す「日本の音楽教師」の投稿は，彼自身が東京音楽学校関係者であったことを示唆している。しかし，この論争は，「日本の音楽教師」側に中傷的な表現があったことを理由に1889年11月11日のオルチンの反論をもって終了し，結局「日本の音楽教師」がトニック・ソルファの本質を深く理解しないままに物別れに終わってしまった。

日本の音楽教育にトニック・ソルファの導入を望んでいたパットンにとって，来日直後のこの論争は，東京音楽学校関係者にトニック・ソルファ採用を納得させることが容易ではないことを印象づけたことであろう。

1.3 居留地でのトニック・ソルファ教育

上記の論争のさなか，パットン自身も1889年10月21日にトニック・ソルファの導入について講演し，さまざまなクラスを開講した（*Japan Gazette* 1889/10/5：Supplement 4；1889/10/18：3；1889/10/22：2；1889/10/31：3；1889/11/18：3)。パットンの指導は主に居留地に住む外国人を対象とするものであったが，生徒の中にはジュリア・モルトン Julia Moulton，メアリー・エレン・ヒントン Mary Ellen Hinton の他，鈴木米次郎も含まれていた。**資料2**に示すとおり，三人は同じ時期に初級と初級理論の証書を得，モルトンとヒントンは中級の証書も得ている。翌1890年には，モルトンとヒントンがそれぞれの勤務校でトニック・ソルファによる音楽教育を開始した。1888年からフェリス英和女学校で音楽を教えていたモルトンは，オルチンの講演を聴いてトニック・ソルファに興味をもち，パットンに師事してその方法をフェリスの授業で用い，大正年間まで教え続けた（フェリス女学院100年史編集委員会 1970：177, 496)。ヒントンは，横浜山手179番にあったイギリス系の男子校ヴィクトリア・パブリック・スクールの校長夫人である。1887年10月の開校以来音楽の科目が無かったが，パットンの下でトニック・ソルファを学んだ夫人が音楽を担当することとなった（女学雑誌

1887/10/15：200(2)；*Japan Weekly Mail* 1887/10/8：354；*Music Herald and Tonic Sol-fa Reporter* 1890/4：371；*Japan Weekly Mail* 1890/7/12：41)。さらに鈴木米次郎は1891年10月5日に高等師範学校附属学校授業嘱託となり，トニック・ソルファによる教育を試みはじめた(東京教育大学付属小学校創立百周年記念事業委員会 1973：466；東京芸術大学百年史編集委員会 2003：156)。

1891年5月29日にはヴァン・スコイック・ホールで，パットンの主催によりトニック・ソルファ五十周年の祝典が開かれた。トニック・ソルファについて説明し，聴衆から示された音程や旋律を初見で歌ったり，日本とイギリスの国歌をハンドサインに従って歌ったりすることによってトニック・ソルファの有効性を示した（**資料3**参照；*Japan Weekly Mail* 1891/5/30：632-634；*Musical Herald* 1891/9/1：280)。同年7月17～18日にロンドンで行われた五十年祭の展示と式典では，パットンから送られた日本のトニック・ソルファ楽曲集や手書きのトニック・ソルファによるピアノ教材，*Pupil's Manual* の日本語訳原稿[3]などが出品され，さらにオルチンが日本の代表として参加・挨拶し，君が代をソルファ譜で紹介した（*Musical Herald* 1891/8/1：239, 245；*Japan Gazette* 1891/9/16：2)。

さらに同年10月17日，パットンは横浜児童トニック・ソルファ合唱協会を設立(**資料4**参照)，以後定期的にコンサートを開くことになる（*Japan Gazette* 1891/9/12：2；1891/9/23：3；1891/9/30；1891/10/19：2；*Japan Weekly Mail* 1891/10/24：498)。しかし，このように順調な教授活動の発展のさなか，10月29日には23歳の娘グェンドリンがコレラで急死し，異国で天涯孤独の身となるという苦渋をも味わった（*Japan Gazette* 1891/10/30：2；*Japan Weekly Mail* 1891/10/31：518；1891/11/7：546－547；*Japan Daily Herald Mail Summary* 1891/11/9：1；*Musical Herald* 1892/1：8)。

1.4　東京音楽学校への進出の試み

娘の死後，パットンは山手142Aに移転，1892年には弟子の鈴木米次郎がトニック・ソルファを用いた著書『簡易唱歌法』の出版という朗報をもたらした[4]。その後，パットンはオリエンタル・バンクの破綻により財産を失うという不運にも遭遇したが，1894年にはオーストラリアで教えた最初の弟子アダ・ブロクサム Ada Bloxham が横浜に合流し，一緒に山手47Aに居を構えトニック・ソルファ音楽学校（横浜居留地のディレクトリーでは Yokohama School of Music and Academy of Dancing）を運営することとなった（*Musical Herald* 1893/10/2：299)。同年4月11日に行われた合唱協会のコンサートには東京音楽学校の教師数名が出席し，子供たちの音楽能力に驚嘆して，トニック・ソルファの採用を検討し始めることとなる（*Japan Weekly Mail* 1894/4/14：447；1894/10/27：489)。その結果，同年10月2日，パットンは唱歌と洋琴［ピアノ］，ブロクサムは唱歌と和声の教務嘱託として，東京音楽学校に採用された[5]（*Japan Weekly Mail* 1894/9/29：355；*Musical Herald* 1894/12/1：370；高等師範学校附属音楽学校 1895：24－25)。二人は1895年4月6日に横浜児童トニック・ソルファ合唱協会のコンサ

ートを東京音楽学校の奏楽堂で開く（東京朝日新聞 1895/3/27：6；読売新聞1895/3/30：3；上田敏全集刊行会 1981：195－196；東京芸術大学百年史編集委員会 1987： 527）など，トニック・ソルファの効用を大いに主張したが，パットンの勤務は1895年４月まで，ブロクサムの勤務は1895年７月までで終わり，次年度以降も継続されることはなかった[6]（遠藤 1948：268）。日本の音楽教育の中枢たる東京音楽学校にトニック・ソルファを導入する試みは，受け入れられなかったのである。

２．現存する蔵書の概要とパットンの指導内容

その後パットンは山手142Ａに移転し，1901年まで横浜居留地に住まう外国人を対象として音楽教育を続けていく。その方法と内容は，当然東京音楽学校で行われている教育とは異なるものであった。現存しているパットンの蔵書から，彼女がどのような教材を用いて指導していたかについて検討してみたい。

パットンの蔵書は，1912年１月７日にパットンが死亡したのち，さまざまな遺品とともに競売にかけられた（*Japan Gazette* 1912/1/18：2）。競売は1912年１月29日に行われ，音楽関係の蔵書一式は元京都帝国大学教授の狩野亨吉（こうきち）が買い受けた（遠藤 1948：269）。1913年頃（青江 1974： 77－78）または1914年頃（鈴木 2002：244），狩野亨吉の他の音楽蔵書とともに東京音楽学校に寄贈され，当時の湯原元一校長に渡されたと伝えられている（遠藤 1948：269）。これらの寄贈書はその後40年以上そのままの状態で留め置かれ，1958年に小宮豊隆から問い合わせがあったのち（青江 1974：77），1978年９月13日になって初めて受入作業が行われた。このときの受入冊数は洋書57冊（受入番号16114～16170），楽譜404冊（受入番号21300～21703）と記録されているが，この数字にはパットンの遺品以外のものも含まれている[7]。1984年３月30日には，この時もれていた洋書２冊（受入番号55837, 55840）を受け入れ，その直後４月９日には，東京芸術大学で受け入れなかった書籍・資料が武蔵野音楽大学図書館に寄贈された[8]。武蔵野音大所蔵の資料の所在については，東川 1983：253で指摘されていたものの，その全容についての調査はその後2003年７～８月まで行われていなかった。

2003年夏に武蔵野音楽大学図書館所蔵の資料，2004年春に東京芸術大学附属図書館所蔵の狩野亨吉寄贈資料を調査した結果，もともとパットンが所蔵していた雑誌・図書・楽譜の現存状況は表１～表４のようにまとめることができる。

2.1　雑誌（**表１**）

表１に示したとおり，雑誌の大部分は東京芸術大学附属図書館に所蔵されており，狩野亨吉寄贈図書のうち受入番号16114～16155の42冊に当たる。トニック・ソルファ・カレッジの創始者ジョン・カーウェン John Curwen が発行した *Tonic Sol-fa Reporter*, およびその継続誌

*Musical Herald and Tonic Sol-fa Reporter*と*Musical Herald*が，1871年～1878年，および1880年以降1909年まで揃って現存している。1.1で既述したように，このうち1870年代のものは後からまとめて購入した可能性がある。これに加えて，ニューヨークで発行された*Tonic Sol-fa Advocate*も1881年～1885年の分が現存する。

他方，武蔵野音楽大学図書館には，*Tonic Sol-fa Reporter*の1864年発行のもの2冊と*Musical Herald*の1892年1月号がバラで現存している。

これらの雑誌を見ると，中にはパットン自身による署名，書込みやアンダーラインが見られ，パットンがこれらの雑誌から得られる情報をトニック・ソルファの発信地イギリスからの情報として重視していたことがうかがわれる。

2.2　書籍とトニック・ソルファ譜（**表2**）

武蔵野音楽大学図書館と東京芸術大学附属図書館にある書籍のうち，内容と書込みからパットンの蔵書であったと推測されるものは合計377冊である。このうち359冊は現在武蔵野音楽大学図書館にあり，東京芸術大学附属図書館にあるのは，表中に網掛けで示した18冊のみである。パットンは表紙や中表紙に署名や年号などを書き込むことが多いため，**表2**では，出版年やパットンが書き込んだ年号を参考にしながらできるだけ年代順になるように並べ，かつ内容別（①～⑤）に分類して示した。

①オペラ関係の書籍・台本計11冊には1860～1870年代，すなわちパットンがトニック・ソルファの指導を開始する前，劇場に出演していた頃に由来すると思われるものが見られる。

②トニック・ソルファの指導者となってからは，演劇への興味を，子供の音楽劇という分野に発展させた。これらの楽譜・台本が70冊現存している。トニック・ソルファを習得した子供たちが歌えるように，楽譜は五線譜ではなくソルファ譜である。1893年7月1日に横浜児童トニック・ソルファ合唱協会のコンサートで上演した（*Japan Weekly Mail* 1893/7/8：48－49）ミラードMillardのカンタータ『小鳥と妖精Birds and Fairies』のソルファ譜は，同じものが合計34冊現存しており，その中にはメルボルン時代に入手したものと横浜で用いたものとが混在している。

③④合計377冊の書籍のうち295冊，すなわち大部分はトニック・ソルファの指導書・教材・曲集であり，特に曲集は同じものが2～30冊あることから，複数の生徒に貸して使わせていたことがうかがわれる。出版年や書込みから判断して，こうした指導書・教材にも，メルボルン時代に由来すると考えられるものや横浜・上海で購入し用いたと思われるものが混在している。当時は書籍や楽譜が貴重であり，さらにトニック・ソルファを初めて教え伝える者として，メルボルンで用いた書籍・楽譜を大量に横浜，さらには上海に持参し，生涯にわたって手元に置いていたのであろう。

⑤『新撰讃美歌』とは，来日直後に知り合った宣教師オルチンが1888年に出版した，一致教会と組合教会による教派連合讃美歌集である。パットンが所蔵していたのはローマ字で歌詞が

記されている版で，オルチンからの献呈辞が書き込まれている[9]。

2.3　五線譜（**表 3**）

武蔵野音楽大学図書館と東京芸術大学附属図書館にある五線譜のうち，内容と書込みからパットンの蔵書であったと推測されるものは合計173冊である。このうち166冊が東京芸術大学の所蔵，**表 3** において網掛けで示した 7 冊が武蔵野音楽大学の所蔵である。

パットンは1879年頃にトニック・ソルファを習うまで，ピアノの教師として活動していた。現存する五線譜はほとんどがピアノ用楽譜で，ピアノ教授用に用いられたものと推測される。この中には，ツェルニーやクラーマーのように音楽取調掛でも購入された（東京芸術大学附属図書館 1969：51－52），日本のピアノ教育で馴染み深い練習曲も見られる。ほとんどが教材として編集された楽譜で，音楽取調掛ではドイツ系のケーラーのピアノ実用教程（東京芸術大学附属図書館 1969：52－53）を購入していたのに対して，パットンの蔵書で目を引くのはコンコーネとハレの教材である。コンコーネ Concone は声楽の練習曲で有名であるが，パットンは連弾を含むさまざまなピアノ・エチュードを教材として用いている。また，ハレ Halleのピアノ教程シリーズは 4 つの課程で100冊以上にも及ぶもので，バイエル程度の初歩からショパンに至るまで，さまざまな楽曲の組み合わせによってピアノ演奏能力の向上を図るように構成されている。これらを中心として，ロンドンで出版された楽譜が圧倒的に多い。

パットンの所蔵していた楽譜には，厚紙で表紙を補強したり付け替えたりしたものが多く含まれ，貴重品である楽譜を使い込んだ様子がありありとうかがわれる。また，1880年に出版した著書の内容とも合致して，いくつかの楽譜には和声の種類に応じた色づけがなされており，生徒の指導に実際に用いたものと思われる。

2.4　その他の資料（**表 4**）

武蔵野音楽大学図書館には，この他にさまざまな印刷物・手書きの楽譜教材・合唱団用のパート譜などが現存している。このうち印刷物と手書きの楽譜教材については**表 4** にまとめて示した。パットンはさまざまな試験の要項と問題を組み合わせた冊子，あるいは練習問題の冊子を作って，その試験を受けようとしている生徒に配ったようである。また，ロンドンのトニック・ソルファ・カレッジから送られてきた印刷物として，日本で証書を得た生徒のリスト（**資料 2**），トニック・ソルファの効用を示したパンフレット，試験を厳正に行ったことを示す証明書の用紙，さらに横浜での独自の資料としてトニック・ソルファ五十周年記念式典プログラム（**資料 3**），横浜児童トニック・ソルファ合唱協会会則（**資料 4**）などが残っている。トニック・ソルファによるピアノ用の教材には，和声の種類を示す色付けがされており，中には手書き・手製の教材もあり，熱心な教育振りがうかがわれる。

2.5　パットンの指導内容

以上のようなパットンの蔵書の内容から，彼女が指導した内容は以下の三点を中心とするものであり，東京音楽学校（音楽取調掛）の音楽教育とは異なる方針であったことがわかる。

①トニック・ソルファの指導

35年以上に及ぶ継続雑誌と300冊近くの書籍・教材は，当時の日本において，トニック・ソルファ関連の唯一の貴重な文庫であったことであろう。音楽取調掛はトニック・ソルファの関係書を4冊所蔵しており[10]，その後東京音楽学校時代に4冊が加わった[11]が，数量的にも内容的にもパットンの蔵書の規模は圧倒的である。パットンがトニック・ソルファを深く研究し，さまざまな教材を駆使して指導していたことがうかがわれる。

②五線譜を用いたピアノの指導，およびトニック・ソルファによるピアノの指導

パットンは五線譜・ソルファ譜を用いてピアノを指導し，和声の種類を譜面上に色づけして示すなど，生徒の読譜・演奏能力向上のために力を尽くした。音楽取調掛で購入したピアノ楽譜の構成と比較して明瞭なことは，パットンの蔵書では教則本的な楽譜が非常に多く，独立した作品の楽譜が少ないということである。つまり，教程の中でさまざまな作品に触れていくという姿勢であり，演奏家として個々の作曲家や作品の個性の表現を追求するという専門的なものではなかったと推測される。

③児童・生徒による小オペラ・音楽劇の上演

トニック・ソルファの読譜力は本来声楽に用いられるものであるため，パットンは生徒の発表会に小オペラや音楽劇，小規模なカンタータなどを積極的に取り上げ，各人にパートを割り振って歌わせた。一方，音楽取調掛の蔵書には声楽関係の書籍・楽譜は少なく，特にオペラや音楽劇に関連するものはほとんど見当たらない。文部省が正しく読譜して唱歌を斉唱する能力を養成しようとしていたのに対して，パットンが子供たちに求めたのは，読譜力はもちろんのこと，独立して自分のパートを歌い，重唱・合唱をまじえて劇を演じ楽しむことであった。

3．文筆家としての活動――晩年

パットンは音楽の指導のみならず，文筆家としての側面をもっていた。横浜に到着した直後，1889年9月14日のジャパン・ガゼット紙に“How it strikes an Australian”（オーストラリア人にとって印象的なこと）という記事を投稿した「メルボルンの一女性（a Melbourne Lady)」も，パットンであろうと推測される。来日5年後の1894年には，自分の近況と周囲の話題を伝える個人的な「おたより」*Circular Letters* の発行を開始した。これは，20～36ページほどの冊子で，日本国内の出来事や時事問題を英字新聞記事を用いて紹介し，さらに自分の見聞や体験を書き記したもので，死の前年1911年まで毎年発行が続けられた[12]。

こうした日常的な文筆活動の成果として，日本の風物や欧米との習慣の違いを紹介する本を2冊出版している。このうち1896年に出版した*Japanese Topysyturvydom*（Tokyo： Hasegawa）は，「ちりめん本」と呼ばれる特殊な和綴の本である（*Japan Weekly Mail* 1896/8/8：155－156；石澤 2004：152－154）。また，1905年に出版した*Japanese Types：Sketched with Brush and Pen：A Series of 30 Pictures*（横浜：Kelly & Walsh）は，ミニー・A・シュエイブ Minnie A. Schwabe が筆で描いた日本風の絵にパットンが文章をつけて日本の風物を紹介するものである。絵を担当したシュエイブは横浜児童トニック・ソルファ合唱協会の会員で，パットンの下で初級証書を獲得した人物である。（**資料2・資料3**参照）

もちろん専門分野における著述にも熱心で，前述のとおり1880年にピアノ伴奏における和声づけの本を出版した他，以下のような記事を新聞や雑誌に投稿している。

1894年2月10日	*Japan Weekly Mail*	"On Ball-Room Dancing"
1896年10月	*Musical Herald*	"Jevenile Solfaist in Japan"
1899年4月	*Musical Herald*	"Representing Harmony by Colour"
1900年2月1日	*Musical Herald*	"Tonic Sol-fa Time-names"
1900年9月1日	*Musical Herald*	"The Value of a Sovereign"

このような熱心な読者・指導者として，1900年1月1日の*Musical Herald*ではパットン自身が写真入りで紹介された。

パットンは60代後半という年齢にもかかわらず，1897年と1898年の夏には北海道を経由してサハリンへと旅行した。1898年10月28日には横浜でシベリアや石狩川について講演し（*Japan Gazette* 1898/10/29：4－5；*Japan Weekly Mail* 1898/11/5：465－466），1905年にはその見聞記を*Two visits to the Island of Saghalien and the Gulf of Tartary during the Summers 1897－8*（横浜：Japan Gazette Press）としてまとめている。パットンが高齢になっても遠隔地に旅行し，その体験や印象を積極的に文章にまとめた背景には，横浜やオーストラリアの新聞に珍しい記事を提供して原稿料を得るという実際的な必要もあった。しかし，前章で扱ったパットンの蔵書・楽譜にさまざまな書込みがありよく読み込まれているところから見ても，パットン自身，本を読み文章を書くことが非常に好きであり，また得意であったという印象を強く受ける。

1901年，パットンは上海に移った（*Japan Weekly Mail* 1901/6/29：687－688）。**表2～表4**に挙げた蔵書・楽譜には上海滞在時を示唆する書込みも散見され，10年間の上海滞在中も熱心に音楽やダンスを指導したものと推測される。また，1908年夏には77歳でありながら太平洋を渡ってカナダに旅行し，その旅行記をオーストラリアの新聞にも寄稿した（*Circular Letter* 13：1, 4－19）。さらに1909年夏には横浜経由でシベリアにも旅行している[13]。1910年にはダンスの入門書*Lecturette on Dancing*（上海：North China Daily News & Herald）を出版した。（*Japan Gazette* 1912/1/4：1；*Japan Weekly Mail* 1912/2/10：168）

1911年6月，80歳のパットンは横浜に戻り，以前と同じ山手142Aで学校を再開しようとし

た（*Japan Weekly Gazette* 1911/12/1：563）矢先，1912年1月7日に心臓麻痺のために急逝した（*Japan Gazette* 1912/1/8：4；報知新聞　1912/1/9：7）。1月10日に行われた葬式には弟子の鈴木米次郎も参列し，娘グェンドリンと同じ山手外人墓地の墓に葬られた（*Japan Gazette* 1912/1/10：4；*Japan Weekly Mail* 1912/1/13：47；McCabe 1994：56）。

まとめ

パットンはトニック・ソルファの伝道者として来日し，オルチンとともに「トニック・ソルファ vs. 五線譜」論争を巻き起こし，一時は東京音楽学校で教える機会を得るまでの評価を受けた。しかし，結局トニック・ソルファは日本の音楽教育に正式に取り入れられず，その影響は弟子モルトンが指導するフェリス英和女学校（大正年間まで）と鈴木米次郎が指導する高等師範学校附属学校（明治30年代半ばまで）という限られた範囲にしか及ばなかった。

横浜居留地在住の外国人を生徒としてパットンが行った音楽教育は，トニック・ソルファとそれを応用した音楽劇，および教則本に基づくピアノの指導を中心とするものであった。その内容は，東京芸術大学と武蔵野音楽大学に現存するパットンの蔵書から把握することができ，東京音楽学校の教育方針とは大きく異なるものであったことがわかる。

パットンは，トニック・ソルファの雑誌を継続して購読し，自らも熱心に投稿した。さらに，文筆家として旅行記や風物記を残し，また多くの友人に近況を記した「おたより」を送り続けた。その著述の内容には，異国での生活や異文化との出会いを楽しみ，人との交流を大切にした，パットンの教養人としての側面が表れている。

（本学助教授：西洋音楽史担当）

注

1　ハロルド・S・ウィリアムズ資料には，日本に滞在したのちオーストラリアに渡ったディクソン牧師［W. G. Dixon］が，文部大臣森有礼宛に推薦状を書き，パットンを東京音楽学校に紹介してもらうことになっていたが，すでに森が暗殺されていたために実現できなかったという情報が記されている。ただし，その経緯を示す資料は現存していない。

2　東京芸術大学文書綴巻55（諸向往復書類明治18年）には，エリスから伊澤宛の1885年10月11日付の手紙が残されている。

3　*Musical Herald* には，「日本の唱歌教師鈴木が *Pupil's Manual* を日本語に訳し，東京の中学校で用いたところ，五線譜を用いるよりも速く上達した。」（1891/9/1：280）と報告されており，鈴木米次郎が1891年からカーウェンの著書*Pupil's Manual*の翻訳にとりかかっていたことが示唆されている。その6年後，1897年11月出版の『新式唱歌――トニックソルファ唱歌集』については，「鈴木が師範学校の生徒に用いるために，*Pupil's Manual* を基に日本のトニック・ソルファ入門書を編纂した」（1898/3/1：80）と紹介されている。

4　但し，この本ではd，r，m（ド，レ，ミ）ではなく数字1，2，3（ひ，ふ，み）を用いており，文部省の数字譜と合成されたかたちになっており，完全なソルファ譜ではない。

5　1894年10月当時，パットンとブロクサムの他に東京音楽学校で唱歌を教えていたのは，助教授小山作之助と講師の上真行，教務嘱託の山田源一郎と奥好義の四人，すなわち皆五線譜を習ってきた人々であった。これに先立って，弟子の鈴木米次郎が1893年12月26日から音楽理論の教務嘱託として東京音楽学校で教えている（東京芸術大学百年史編集委員会 2003：1581，1585）。尚，東京芸術大学百年史編集委員会2003：1585には，鈴木米次郎が1891年10月５日に東京音楽学校の唱歌の授業嘱託になったと記されているが，これは東京音楽学校が一時的に高等師範学校の付属学校となっていたための情報の混乱による誤記と思われる。1891年10月５日に鈴木が就職したのは高等師範学校附属学校である（東京教育大学付属小学校創立百周年記念事業委員会 1973：466）。

6　ブロクサムは声楽家としての技量も認められ，以下のコンサートに出演した記録がある。

1894年６月15日　鹿鳴館　大日本音楽会（ディットリッヒ送別）
　独唱　マフェツヲリー作曲「マタイの物語」
　　マンヂチユースキ作曲　ヴァイオリン掛合い「月の出しほ」
　　（読売新聞 1894/6/15：3；東京芸術大学百年史編集委員会 1987：518－519）

1894年11月24日
　重唱「夜は更けぬ」「オルフュウス」　（上田敏全集刊行会 1981：234－235）

1894年12月８日　学友会恤兵義捐演奏会
　独唱「夢」　（上田敏全集刊行会 1981：237）

1895年５月18日　臨時大演奏会
　独唱　グウノオ『フハウスト』より「花の歌」
　（東京芸術大学百年史編集委員会 1987：527）

1895年７月６日　東京音楽学校卒業式
　指揮　チゴイネル作曲「松の風」　（東京芸術大学百年史刊行委員会 1990：27）

1898年３月５日　奏楽堂 ピアノ演奏　（読売新聞 1898/3/4：4）

7　東京芸術大学附属図書館から得た情報。情報の提供に感謝の意を表する。

8　武蔵野音楽大学図書館当該資料の段ボール箱に記述されていた情報。

9　パットンの蔵書にある『新撰讃美歌』は歌詞のみがローマ字で記された版であるが，同じ年に歌詞が日本語で記された版も出版され，さらに1891年にはソルファ譜付きの『新撰讃美歌』も出版された。（茂，高道 1978：53－54；若山 1999：123－124）後者は，日本で初めて出版されたソルファ譜である。それより前，1876年に横浜第一浸礼教会牧師のネーサン・ブラウン Nathan Brown が編集した『宇太登不止（うたとふし）』の楽譜もソルファ略譜の特徴をもつが，完璧なトニック・ソルファの楽譜ではなかった（手代木 1986：27；手代木 1996：10, 19－21）。

10　*The Sol-fa Method of Singing at Sight*（受入番号70），*The New How to Observe Harmony*（受入番号不明），*Teacher' Manual*（受入番号74），*Music Theory*（受入番号75）（東京芸術大学附属図書館 1969：13, 16, 29, 47）。これら４冊は，**資料１**の「日本の音楽教師」の投稿によれば，エリスから送られたものである可能性がある。

11　*Three Hundred and Ninety-six Two-part Exercises...*（受入番号239）には，高等師範付属音楽学校の蔵書印，*Tonic Sol-fa Method*（受入番号297），*The Sol-fa System...*（受入番号333），*Tonic Sol-fa*（受入番号334）の３冊には東京音楽学校の蔵書印が押してある。

12　State Library of New South Wales（Sydney）には Vols. 5 (1900), 10(1905/1906), 13(1908)－16 (1911) が現存している。ウィリアムズが研究した時点では，イギリス・リーズ在住のワード（Ward）氏が Vols. 2 (1895)－No.15(1910) を所蔵していた（ハロルド・S. ウィリアムズ資料）が，2003年に筆者がワード氏の未亡人に確認したところ，現在は行方不明となっている。

13　この途中，５月末～６月上旬頃，パットンは東京で鈴木米次郎と再会し東洋音楽学校を訪ねた。しかし，聞こえてくるピアノやヴァイオリンの音から，トニック・ソルファが採用されていないことを感じ取ったという。この時，パットンは鈴木の紹介で宮中の雅楽の演奏会に初めて出席した。（*Circular Letter* 14：6－7, 11－17）

参考文献

青江　舜二郎

1974　『狩野亨吉の生涯』　東京：明治書院

遠藤　宏

1948　『明治音楽史考』　東京：有朋堂

フェリス女学院100年史編集委員会（編）

1970　『フェリス女学院100年史』　横浜：フェリス女学院

Forde, F. F.（"Old Chum"）

1912　"Early Melbourne"（No.132）*Truth* 1912/3/30, Melbourne.

石澤　小枝子

2004　『ちりめん本のすべて』　東京：三弥井書店

高等師範学校附属音楽学校（編）

1895　『高等師範学校附属音楽学校一覧　従明治27年至明治28年』
東京：高等師範学校附属音楽学校

升本　匡彦

1978　『横浜ゲーテ座――明治・大正の西洋劇場』
横浜：横浜市教育委員会；第二版　横浜：岩崎博物館, 1986.

McCabe, Patricia

1994　*Gaijin Bochi. The foreigners' cemetery, Yokohama, Japan.* London: BACSA.

佐々木　敏郎

1993　「ネーサン・ブラウンの生涯と宣教活動（1）―その家系と家族―」
『関東学院教養論集』2, 45－70.

茂　洋；高道　基

1978　「オルチン牧師の生涯」秋山憲兄（編）
『神戸女学院図書館所蔵オルチン文庫版「覆刻　明治初期讃美歌」解説』
東京：新教出版社，49－62.

Stevens, Robins S.

2000　"Emily Patton: An Australian pioneer of tonic sol-fa in Japan" *Research Studies in Music Education* 14, 40－49.

鈴木　正

2002　『増補　狩野亨吉の思想』　平凡社ライブラリー432　東京：平凡社

鈴木　米次郎

1892　『簡易唱歌法』　東京：共益商社

1897　『新式唱歌　一名トニックソルファー唱歌集』東京：十字屋；江崎公子（編）
『音楽基礎研究文献集』第1巻　東京：大空社，1990

手代木　俊一

1986　「ジョージ・オルチン師の『日本における讃美歌』（全訳）」『フェリス論叢』23, 1－60.

1996　「明治期プロテスタント教会の讃美歌集」　手代木俊（監修）
『明治期賛美歌・聖歌集成』第25巻　東京：大空社，5－23.

東川　清一

1983　『退け、暗き影「固定ド」よ！――ソルミゼーション研究』　東京：音楽之友社

東京芸術大学附属図書館（編）

1969　『音楽取調掛時代所蔵目録（1）洋書・楽譜』　東京：東京芸術大学附属図書館

東京芸術大学百年史編集／刊行委員会（編）

1987　『東京芸術大学百年史　東京音楽学校篇』第１巻　東京：音楽之友社
1990　『東京芸術大学百年史　演奏会篇』第１巻　東京：音楽之友社
2003　『東京芸術大学百年史　東京音楽学校篇』第２巻　東京：音楽之友社
東京教育大学附属小学校創立百周年記念事業委員会（編）
1973　『東京教育大学附属小学校教育百年史　沿革と業績』
東京：東京教育大学附属小学校創立百周年記念事業委員会
上田敏全集刊行会（編）
1981　『定本　上田敏全集』第10巻　東京：教育出版センター
若山　晴子
1999　「ジョージ・オルチン師と讃美歌――米国伝道会宣教師文書を中心に」　神戸女学院大学『新撰讃美歌』研究会（編）　『新撰讃美歌研究』　東京：新教出版社、111－155.
Williams, Harold S.
1975　"Two remarkable Australians of old Yokohama" *The Transactions of the Asiatic society of Japan* ser.3, vol.12, 51－69.

本稿の作成において、次の機関・方々には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。
（敬称略・順不同）
武蔵野音楽大学図書館、東京芸術大学附属図書館、フェリス女学院資料室
石澤小枝子、平野正裕（横浜開港資料館）、東川清一、Robins S. Stevens

資料１．ジャパン・ガゼット紙上のトニック・ソルファ論争
（原文英語：筆者抄訳）

1889年9月20日　オルチンの講演内容

日本に滞在中、幸運なことに、日本人に声楽を教えるためにさまざまな方法を試すことができた。７年間にわたり、大阪の大きな女学校と複数の大きな教会で声楽を指導してきた。現在女学校に在籍している400人の生徒のうち、高学年の250名を毎週指導している。最初は文部省が作ったCharts とMusic Readers を用い、とても便利だと思った。次に、低学年で modulator とトニック・ソルファの練習を黒板に書いて行ったところ、はるかに良い成果が得られたため、五線譜による文部省の教材とトニック・ソルファを併用している。…［東京音楽学校について］二つの改革を行えば教員養成学校としての便利さが倍増され、卒業生ももっと有能になるであろう。第一は、音楽家というよりは教育家である外人教師をもう一人雇い、下のクラスの学生を教えさせて、現在の外人教師のような完成された音楽家の指導を受ける準備をさせることである。第二の改革は、指導方法としてトニック・ソルファを導入することである。…

1889年10月1日　日本の音楽教師からの投書

オルチン師は日本の音楽教育の実態をよく知らないように思われる。…私の知るところによれば、音楽取調掛（現在の東京音楽学校）の指導者たちは、トニック・ソルファについてすでに10年前から研究しており、そのシステム独自の主要な原理は日本の国民的需要に合わせて修正した形で採用されている。…トニック・ソルファ・システムにとって重要な音名［d, r, m, f, s, l, t］をそっくりそのまま採用したら、最初の段階からどんな困難が生ずるかは明らかである。…この問題は、音楽取調掛長の伊澤氏によって、日本の「ひ・ふ・み・よ・い・む・な」を代用することによってうまく解決された。…

1889年10月23日　オルチンの反論

…論者あるいは東京音楽学校の主要メンバーは、トニック・ソルファ記譜法で書かれた音楽作品を見たことがあるのだろうか？　…論者は、音名と記号、または音符について明確に区別していないように思われる。彼は、トニック・ソルファ記譜法に反論しているつもりで、実際にはトニック・ソルファ音名に反論している。…私も「ひ・ふ・み」を用いてみたことがあるが、特に「ふ・む」の二つは声楽的に不自然であることがわかって使用を中止した。日本人はこの二つの音名を口を開けて歌うことができない。…

1889年11月1日　日本の音楽教師の反論

…伊澤掛長は音楽の問題について1884年以来ロンドンのA. J. エリス Ellis 氏と手紙を交わしており、一度トニック・ソルファ・システムについても十分に論議した。その際、エリス氏はカーウェンの *Musical Theory* や *Teacher's Manual* のようなトニック・ソルファの本を何冊か送って下さった。この問題について論議し、日本での適用に必要な修正について論議した後、エリス氏は1885年４月27日に、「ド・レ・ミ」の代わりに「ひ・ふ・み」を使うことを効果的なよい方法だと書き送ってきた。さて、大阪の伝道者オルチン氏と、ヘルムホルツの *Sensation of Tone* の翻訳家として知られる有名な音楽科学者、しかもトニック・ソルファの強力な支持者でもあるエリス氏の、どちらがこの問題について有能な裁判官となりえるだろうか。その判断は読者にゆだねることにしよう。音楽取調掛関係者がトニック・ソルファ譜を見たかどうかについて疑いをもつ人は、東京音楽学校の蔵書を見るとよい。…

1889年11月11日　オルチンの反論

…日本の音楽教師、およびこの件について論じたい人々とは、今後個人的に論議を続けたい。自分の意見は東京音楽学校、およびその関係者への攻撃を意図するものではない。…

資料２．パットン門下の証書授与者リスト
（武蔵野音楽大学図書館所蔵）

The Tonic Sol-fa College.
CERTIFICATES ISSUED IN JAPAN
By MRS. E. S. PATTON

Elementary

Reg. No.	
100199	Mary Ellen Hinton
100200	Edward Bramwell Clarke
100201	Yonejiro Suzuki
100202	Josephine Kimball
100203	Julia Moulton
100204	Mary Deyo
100205	Frederick George Sale
100206	Jessie Hale
100207	Ada Louisa Sale
100208	Grace Emily Morriss
100209	Jessie Kate Watson
100210	Halstead Lindsley
100211	Thayer Lindsley
100212	Nathan J. Sargent
100213	Mabel Varnum

Intermediate

44328	Mary Ellen Hinton
44329	Edward Bramwell Clarke
44330	Julia Moulton
44331	Josephine Kimball
44332	Jessie Kate Hay
44333	Halstead Lindsley
44334	Thayer Lindsley
44335	Nathan J. Sargent

Elementary Theory

10028	Mary Ellen Hinton
10029	Edward Charles Bramwell
10030	Yonejiro Suzuki
10031	Josephine Kimball
10032	Jessie Hale
10033	Julia Moulton

100214	Christina Carst
100215	Minnie Agnes Schwabe
100216	Nellie Edith Schwabe
100217	Wm. Marschall Carst
100218	John Marshall Carst
100219	Evelyn M. James
100220	Frank H. James
100221	Ernestina Batavus
100222	Camelia Sargent
100223	Anna Carst
100224	John Fred. Drummond
10034	Nathan J. Sargent
10035	Jessie Kate Hay

First Grade Staff Notation

5658	Jessie Kate Hay

Second Grade Staff Notation

1891	Jessie Kate Hay

The above are duly registered in the books of the College.

Robert Griffiths, Secretary
The Tonic Sol-fa College
27, Finsbury Square, London, E. C.
January 19th, 1892

資料３．1891年5月29日トニック・ソルファ五十周年記念式典プログラム
（武蔵野音楽大学図書館所蔵）

A TONIC SOL-FA CELEBRATION of the Jubilee year of the system,
Will be on Friday Evening, May 29th, at 8 o'clock,
Punctually in the Van Schaick Hall.
By the kind permission of the REV. E.S.BOOTH, M.A.
Who has consented to take the chair.

PROGRAMME.

Part 1

1. Opening address by the Rev. E.S.Booth, M.A.
2. Short account of the rise and progress of the System and its results, by. Mrs. E.S.Patton.
3. Two-part song, by Miss Moulton's 1st class, and illustration of the system by same class, including Modulator Voluntary, Ear exercises, etc.
4. Illustrations of the primary steps of the system, by Mrs. Patton's elementary class.
5. Illustrations of the system as applied to the piano-forte by Mrs. Patton's pupils.

Interval of 10 Minutes

During which time the audience will be requested to supply some Musical Intervals, and to select a simple part-song not seen before, as exhibitions of sight singing by the pupils.

Part 2

1. Two-part song, by Miss Moulton's 2nd class, who will afterwards join with the 3rd class in giving illustrations of the system.
2. Sight-singing of musical intervals from black-board supplied by audience, and a two-part song not seen before selected by the audience, will be sung at sight by 12 of Mrs. Patton's and miss Moulton's pupils.

3. Mrs. Patton's theory class will give illustrations of musical analysis, chord-naming, ear exercises on time and musical phrases, and singing in the minor mode.
4. Two-part song by Miss Moulton's 1st class
5. Japanese national anthem sung from Modulator, and American and English national anthem sung from hand signs, by the combined pupils.
6. Concluding remarks by the Rev. E.S.Booth.

資料４．横浜児童トニック・ソルファ合唱協会会則　1891年10月17日
（武蔵野音楽大学図書館所蔵）

RULES AND REGULATIONS/ of the/ Juvenile Tonic Sol-fa/ Choral Society/ OF YOKOHAMA//
Inaugurated October 17th, 1891.

PREFACE
At a meeting held in the Public Hall, Bluff, Yokohama, on October 17th, 1891, the following resolutions were carried by those present: -
That as a musical association would be both improving and interesting to the young people of this community, such an organization be formed under the title of "The Juvenile Tonic Sol-fa Choral Society"
Mrs. Emily S. Patton to be President and Musical Conductor with full discretionary powers to arrange all details necessary for the successful working of the Society while in its present initiatory stage.
That the qualification for membership be the possession of the Junior [corrected: Elementary] Certificate of the Tonic Sol-fa College, London.

［中略］
p. 4
President and Musical Director
Mrs. Emily S. Patton (Associate of the Tonic Sol-fa College, London)
Accompanyist　Mrs. Robert Hay
Committee　Nathan J. Sargent
Halstead Lindsley
Miss Anna Carst and Miss Mabel Varnum
Honorary Secretary　Nathan J. Sargent
Honorary Treasurer　Halstead Lindsley
Librarian　Anna Carst, Mabel Varnum
Members　Thayer Lindsley, Christina Carst, John Marshall Carst, William Marshall Carst, Minnie Agnes Schwabe, Nellie Edith Schwabe, Evelyn James, Frank H. James, Ernestina Batavus, Camellia L. Sargent, Anna Carst, John Frederick Drummond, Ethel Florence Fraser, Jessie Eyton, Mabel Moss, Emily Jarmain, Mary Watt, Louise Dourille, Anna Diack, Nellie Johnstone, Clara Loomis, Evarts Loomis, Jeanie Loomis, Emma Ekstrand, Margot Stornebrink, Maya Lindsley, George Campbell Wheeler, Violet Brent, Mary Helm, Henry Rodham Cook, Hans Emanuel Merian, Morris Mendelson, Vera Lobanow de Rostow, Charle Stanley Moss, George Sinclair Moss, Annie Walker

表２　パットン所蔵の書籍とソルファ譜

無色は武蔵野音大所蔵；　網掛けは東京芸大所蔵

芸大受入番号	タイトル	出版年	複本の数	備考
	①オペラ関係			
	Oberon	1865		W.S.Lyster's Opera Company
	Orphee aux Enfers. A Comic Opera			Lyster's Comic Opera Company on Easter Monday, April 1, 1872
	Genevieve de Brabant or Harlequin King of the Bakers	1873		Royal Victoria Theatre
	Lohengrin			英語台本
	Falka. Opera Comique in Three Acts			
	Le Nozze di Figaro			Royal Italian Opera, Covent Gardenの対訳台本
	Dick. A New and Original Comic Opera			Her Majesty's Opera House
	The Mikado, or the Town of Titipu			台本
16165	8 Original Comic Operas			Emily S. Patton 1888
16162	The Savoy Opera	1894		Emily S. Patton 1897
16156	The Dramatic Peerage 1892			Emily S. Patton 1900；Jujiya Book Storeのシール No.5 YATOZAKA YOKOHAMA
	②音楽劇楽譜・台本，ミサ曲，オラトリオ，カンタータ			
	The Wreck of the Argosy. A Cantata by W.H. Birch	1879		The Tonic Sol-fa Library 表紙：Mrs.Patton；中表紙：Emily S. Patton/ Tonic Sol-fa School of Music 30 Russel St.
	Stabat Mater by Rossini	1880?		The Tonic Sol-fa Library
	Twelfth Mass by Mozart	1882		The Tonic Sol-fa Library 表紙：Mrs. Patton
	The Flower Queen. A Cantata for Ladies' Voices			Tonic Sol-fa Library 表紙にGwennie Patton 1883
	Country Life. A Cantata by E. F. Rimbault			The Tonic Sol-fa Library 表紙：Mrs. Patton 1884；中表紙：Emily S. Patton/ Tonic Sol-fa School of Music/ 30 Russel St.
	Six Plays for Children	1884		
	The Children's Festival. A School Cantata by S. McBurney		2 copies	Tonic Sol-fa Edition 書込み：E.S.Patton// Guennie Patton；１冊は表紙のみ
	The Year			表紙裏：Tonic Sol-fa Agency Melbourneの印
	Birds and the Fairies		34 copies	School Cantatas シリーズ　１冊の表紙：Nellie Aitken/ Victoria Parad?? 裏表紙：Tonic Sol-fa Agency Melbourneの印；他の18冊の表紙：Yokohama Juvenile Tonic Sol-fa Choral Society/他の１冊：表紙にPattonのサイン，No.47 Bluff, Villa Belveder
	An Hour in Fairy-land		4 copies	School Cantatas シリーズ　１冊は12ページで表紙：Nellie Aitken/ Victoria Parad?? 裏表紙：Tonic Sol-fa Agency Melbourneの印がある。他の１冊の表紙にSchoolと書込み，Tonic Sol-fa Agency Melbourneの印，その他の１冊の表紙にBertha Meoss. M…と書込み，Tonic Sol-fa Agencyの印
	First Mass（in B Flat）			The Tonic Sol-fa Library
	New Year's Eve. A Cantata in Three Parts			The Tonic Sol-fa Library

表２　パットン所蔵の書籍とソルファ譜（続き）

無色は武蔵野音大所蔵；　網掛けは東京芸大所蔵

芸大受入番号	タイトル	出版年	複本の数	備考
	Judas Maccabaeus			Tonic Sol-fa Edition
	The Flower Queen. A Cantata for Ladies' Voices			School Cantataシリーズ
	Dick's Standard Charades and Comedies for Home Representation			
	Charade Dramas			Lacy's Home Plays
	The Place of Truth. A Fairy Comedy in three Acts			
	Aladdin			
	Little Ped Riding Hood			Fairy Plays for Home Performance No.8
	Sleeping Beauty		4 copies	Fairy Plays for Home Performance No.9
	Nurseryrhumia			Fairy Plays for Home Performance No.11
	Cinderella		3 copies	Fairy Plays for Home Performance No.4
	Parlor Tableaux or Animated Pictures for the Use of Families, Schools, and Public Exhibitions			
	Plays for Young People			
	Princess Marguerite's Choice			Children's Plays No.4
	Three Fairy Gifts			Children's Plays No.9
	Humpty Dumpty and other Sensational Dramas			
	Charade Dramas for the Drawing-room			扉：Emily S. Patton 47A Bluff
	③音楽書・トニックソルファ関連印刷物			
	The Tonic Sol-faist's Guide to the Common Notation of Music			表紙：Henry Wilson 12.5.71
	The Staff Notation. A Practical Introduction on the Tonic Sol-fa Method of Teaching Music	1872?	2 copies	
	The Standard Course of Lessons & Exercises in the Tonic Sol-fa Method of Teaching Music	1876		Emily S. Patton 1879
16164	Pronunciation for Singers	1877		署名なし，赤線入り
16169	The Kindergarten System			Emily S.Patton 1880
16157	Harmony and Through-bass Primer	1878		Emily S.Patton 1880；書込みあり
	Musical　Theory　Book I	1879?	2 copies	
	Musical　Theory　Book II		2 copies	１冊の扉にはMrs. E.S.Pattonのサインあり
	Principles of the Method Le Couppey	1880		title page：Mrs. Patton 1880；中に書込みあり；内表紙のタイトルHow to play the Piano
	Summary of Musical Theory with Test Sheets for Examination	1882		title page：Gwendoline Patton/ Ladies' College/ Geelong
	Compendium of Rules for Composition and Punctuation	1882		
	Some Practical Remarks on Music Teaching from the Personal Experiences of a Teacher	1882		
16167	Voice, Song, and Speech	1884		Emily S. Paton 1884；書込みあり

表２　パットン所蔵の書籍とソルファ譜（続き）

無色は武蔵野音大所蔵；　網掛けは東京芸大所蔵

芸大受入番号	タイトル	出版年	複本の数	備考
16159	The Musical Profession	1888?		Emily S. Patton 1891；赤線入り
55837	The Standard Course of Lessons & Exercises in the Tonic Sol-fa Method of Teaching Music	1889		9th edition；Emily S. Patton 142A Bluff
	Calendar 1889-90			
	Rules and Regulations of the Juvenile Tonic Sol-fa Choral Society of Yokohama	1891	32 copies	31冊はメンバー表に補足書込み，うち4冊は文章に大幅な訂正（そのうち2冊の表紙に，それぞれEarle Bleveland；Cyril Pulfordのサイン）
	The Tonic Sol-fa Jubilee	1891	2 copies	title page：63を消して142A Bluff Mrs. E.S.Patton；p.24：Now in 1899, over six milliones of children with five thousand trained teachers!
16166	The Music of Nature			Emily S. Patton Yokohama 1892；赤線入り
16168	A Dictionary of Musical Terms			署名なし，赤線入り
16170	The School Music Teacher			
	The Commonplaces of Music. A Student's Handbook by John Curwen			
	An Account of theTonic Sol-fa Method by John Curwen			表紙なし
	Pocket Mudulator		8 copies	カード状のもの
	The Pupil's Manual of the Tonic Sol-fa Method of Teaching Music		2 copies	
	Companion for Teachers of the Tonic Sol-fa Method in Elementary Schools			
	Talks about Musicians			
	J.Curwen & Sons Ltd. Music Publishers		会社案内	
	John Curwen & J.Spencer Curwen			
	The Musical Indicator			
	The Story of Tonic Sol-fa		3 copies	１冊は表紙なし
	Opening of the Twenty-first Annual Holiday Course of Study for Teachers of the Tonic Sol-fa Method at THE TONIC SOL-FA COLLEGE JULY 13. 1896, LETTERS of CONGRATULATION	1896	2 copies	１冊の表紙にJ.S.Curwenのサイン
	Music at the Queen's Accession. A Paper read before the Society of Arts, March 17th 1897.	1897		title page：with the author's ???
16161	Music and Morals			Emily Patton 1897
	Calendar 1897-98			表紙：Emily S.Patton 1898
	The Tonic Sol-fa System. What is it?	1898		
	Syllabus for the Year ending December 31, 1899			表紙：Emily S. Patton/ 142A Bluff
55840	The Standard Course of Lessons & Exercises in the Tonic Sol-fa Method of Teaching Music	1901		new edition；Emily S. Patton 1901
	Calendar 1902-3			１年間に証書を得た人のリスト，その他
	④トニック・ソルファ教材・曲集			
	The First Blackbird. A Song-book for Junior Schools		7 copies	うち１冊の表紙：Alice Yearrell

表２　パットン所蔵の書籍とソルファ譜（続き）

無色は武蔵野音大所蔵；　網掛けは東京芸大所蔵

芸大受入番号	タイトル	出版年	複本の数	備考
	The First Blackbird. A Song-book for Junior Schools		3 copies	
	The Second Blackbird. A Song-book for Junior Schools		24 copies	
	The Second Blackbird. A Song-book for Junior Schools		8 copies	うち１冊の表紙：Dorothea Blak（子供の筆跡）
	The Third Blackbird. A Song-book for Junior Schools		13 copies	うち３冊の表紙に各々：Mrs. Patton 63 Bluff；W.Barst；Thayer Lindleyの書込み
	The Third Blackbird. A Song-book for Junior Schools		19 copies	うち１冊の表紙：Mrs. Patton 63 Bluff
	The Fourth Blackbird. A Song-book for Junior Schools		12 copies	
	The First Nightingale. A Song-book for Senior Schools		4 copies	
	The First Nightingale. A Song-book for Senior Schools		5 copies	
	The Second Nightingale. A Song-book for Senior Schools		8 copies	
	The Second Nightingale. A Song-book for Senior Schools		16 copies	
	The Third Nightingale. A Song-book for Senior Schools			
	Crampton's School Songs		4 copies	
	The Mendelssohn Album, Part I			
	A Staff Notation Primer for Tonic Sol-fa Pupils		3 copies	
	Graded Rounds and Catches. Staff Notation Edition			表紙：Popular Choral Societyの印
	Graded Rounds and Catches. Tonic Sol-fa Edition			
	Standard Songs, Comprising Popular Melodies in the Tonic Sol-fa Notation, vol.I			
21698	Standard Songs, Comprising Popular Melodies in the Tonic Sol-fa Notation, vol.I			Emily S. Patton Oct 6th 1899/ Emily S. Patton 1900；書込みあり
	Standard Songs, Comprising Popular Melodies in the Tonic Sol-fa Notation, vol.II			書込みあり；Yokohama Jiujiya Book Storeのシールあり
21699	Standard Songs, Comprising Popular Melodies in the Tonic Sol-fa Notation, vol.II			署名なし，赤鉛筆チェックあり
	Standard Songs, Comprising Popular Melodies in the Tonic Sol-fa Notation, vol.III			内表紙：Gwennie Patton/ 1883；目次にチェック多数
21700	Standard Songs, Comprising Popular Melodies in the Tonic Sol-fa Notation, vol.III			Mrs. E.S.Patton 142A Bluff；色づけ，書込みあり
	The Singing Class. An Elementary Course on the Tonic Sol-fa Method		2 copies	表紙：Tonic Sol-fa School of Music. 47A Bluff/ Mrs. Patton；もう１冊は表紙のみで同じ書込み
	Voice-Training Exercises, with Studies in Musical Ornaments, Phrasing and Style. By Joseph Proudman			
	Tonic Sol-fa Method. The Men's Course, Parts I & II			
	Minstrel Ballads. A Selection of Songs with Choruses and a Pianoforte Accompaniment, in the Tonic Sol-fa Notation			
	Christmas Carols			
	German Two-part Songs			
	German Two-part Songs, First Series（Revised）			
	School Glees, arranged for Three Voices, sopranos and contralt		30 copies	音楽記号の書込みあり；１冊の表紙にはA.Austen：５冊にBennett Familyのサイン (67 Bluff)

表２　パットン所蔵の書籍とソルファ譜（続き）

無色は武蔵野音大所蔵；　網掛けは東京芸大所蔵

芸大受入番号	タイトル	出版年	複本の数	備考
	The Irish Tonic Sol-faist. A Course of Graded Exercises on the Tonic Sol-fa Method of Teaching to Sing			
	The Royal Songster No.1			
	The Royal Songster No.2			表紙：School of Music/ 47A Bluff/ Mrs. Patton/ 書込みあり
	The Royal Songster No.3			
	The Royal Songster No.4			
	The Royal Songster No.5			
	The Royal Songster No.6			
	The Royal Songster No.7			
	The Linnet. A Song Book for Infant Schools；The Songster No.7		個人的合本	
	The Linnet. A Song Book for Infant Schools；The Songster. A First Song book on the Tonic Sol-fa Method for the use of schools		個人的合本	title page：Mrs. E.S.Patton/ Tonic Sol-fa/ School of Music/ 142A Bluff；曲にNo.の書込みあり
	The Second Linnet：A Song Book for Infant Schools and Young Children		2 copies	
	The Academy Vocalist. A Course of Instruction in Singing on the Tonic Sol-fa Method, Part II			
	The Call to Song			
	The Voice-Trainer			内表紙：Emily S.Patton 1900
	Intermediate Training for Choirs, upon the Tonic Sol-fa Method			
	The Boy's Voice	1891?		内表紙：Emily S.Patton. 1904；メモ挟み込み
	Mabel's Songs for Little Singers, Part I, Tonic Sol-fa Edition			
	Young Voices. Songs for Schools in the Tonic Sol-fa Notation, Part I		2 copies	書込みあり
	Young Voices. Songs for Schools in the Tonic Sol-fa Notation, Part II		2 copies	書込みあり；１冊の表紙にはFanny// Mrs. Patton
	Young Voices. Songs for Schools in the Tonic Sol-fa Notation, Part III			title page：Mrs. E. S. Patton
	The Songstor；Young Voices；Young Voices, Part II；Young Voices, Part III；The Royal Songster, No.7；No.1-No.6		個人的合本	表紙：Songs/ in/ Tonic Sol-fa/ Mrs. E..S.Patton/ No.1B Nanking Road
	Old-Time Songs, Part I			
	Old-Time Songs, Part II			
	Trios for Equal Voices in the Tonic Sol-fa Notation, First Series		4 copies	書込みあり
	Choral Drill Exercises		2 copies	
	Choral Drill Exercises		2 copies	
	The Better Land and Seven other Two-part Songs, Tonic Sol-fa edition		2 copies	
	⑤讃美歌集			
16158	Hymns and songs of praise （『新撰讃美歌』ローマ字歌詞版）	1890		Mrs. E.S.Patton/ from the ???/ Geo Allchin/ Yokohama April 12th 1891

表3　パットン所蔵の五線譜

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21645	Abt, Franz	Practical Singing Tutor, Op.474	London	自作表紙 Singing Tutor/By/Franz Abt/with/Solfeggi；中の表紙 Mrs. Patton 1881；書込みあり
21701	Berry, E.	135 Kindergarten Songs and Games	London	署名なし，書込みあり
21702	Berry, E.	135 Kindergarten Songs and Games	London	署名なし，ソルファ譜・その他の書込みあり
	Berry, E.	135 Kindergarten Songs and Games	London	2冊あり
21571	Bertini	8 Etudes, Op29 Book I		ピース状；表紙右上Mrs. E.S.Patton, 真中（手書き）8/Etudes/by/Bertini
21379	Burgmueller	12 Etudes Op.105	Meyence	表紙（鉛筆）：Mrs. Patton；書込みあり
21378	Burgmueller	18 Etudes Op.109	Meyence	書込みあり（ソルファ譜，リズム読み）
21380	Burgmueller	Etudes pour Piano livre 1	London	表紙にMoutrie & Co./Shanghaiのゴム印；一部色づけ
21381	Burgmueller	Etudes pour Piano livre 2	London	表紙にMoutrie & Co./Shanghaiのゴム印
21382	Burgmueller	Etudes pour Piano livre 3	London	表紙にMoutrie & Co./Shanghaiのゴム印
21387	Chaulieu	L'indispensable	London	自作表紙（鉛筆）Lent to Mrs. Shibata[?]/（インク）Tonic Solfa School of Music/Chaulieu's/Indispensable Exercises/for the/pianoforte/Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；中のタイトルページ Mrs. E.S.Patton；書込みあり，一部色づけ
21399	Chaulieu	L'indispensable	London	自作表紙 Chaulieu's/Indispensables/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff/Tonic Solfa School of Music；中の表紙（赤鉛筆）Mrs. Patton 188?；書込みあり，一部色づけ
21564	Clementi	Preludes et Exercices dans tous les Tons Majours et Mineurs	Leipzig	表紙にLONDON/CHAS. WOOLHOUSE, 81 REGENT STREET, Wのゴム印；リズム読み等の書込みあり
21565	Clementi	Gradus ad Parnassum vol.2	Leipzig	表紙にJ.G.DOERING/YOKOHAMAのゴム印, 右上 Mrs. E.S.Patton
21566	Clementi	Gradus ad Parnassum vol.3	Leipzig	表紙にJ.G.DOERING/YOKOHAMAのゴム印, 右上 Mrs. E.S.Patton
21615	Concone	15 Etudes Brillantes pour Piano	London	自作表紙 Mrs. Patton/15/Etudes Brillantes/par/concone/solos；タイトルページ（鉛筆）Mrs. Patton；色づけ，書込みあり
21395	Concone	25 Etudes Melodiques, Op.24	London	自作表紙 Concone/Book I/Solos/Mrs. E.S.Patton/142A Bluff/（25 Melodiques）；書込みあり
21616	Concone	25 Etudes Melodiques, Op.24	London	自作表紙 Concone's Pianoforte Studies/Solos/Book I/25（Melodiques）/Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；中の表紙 Mrs. Patton 年号部分紙破損；後半は，元の印刷譜をノートに切り貼りした状態；色づけ，書込みあり
21620	Concone	15 Etudes de Genre Op.25	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte Studies/Solos/Book IV/XV（de Genre）/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；中の表紙 Mrs. Patton 年号部分紙破損；書込みあり，一部色づけ
21617	Concone	20 Etudes Chantantes Op.30 Part 1	London	自作表紙（鉛筆）Lent to Aewer Diack/（インク）Concone's/Pianoforte Studies/Solos/Book II/（Chantantes）/I to X/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；元の印刷譜をノートに切り貼りした状態；色づけ，書込みあり

表3　パットン所蔵の五線譜（続き）

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21618	Concone	20 Etudes Chantantes Op.30 Part 2	London	自作表紙 Concone's Pianoforte Studies/Solos/Book II/（Chantantes）/XI to XX/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；元の印刷譜をノートに切り貼りした状態；色づけ，書込みあり
21621	Concone	15 Etudes de Style Op.31 Part 1	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte Studies/Solos/Book V （de Style）/1 to 8/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；中の表紙 Mrs. Patton 188?/1885；元の印刷譜をノートに切り貼りした状態；色づけ，書込みあり
21622	Concone	15 Etudes de Style Op.31 Part 2	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte Studies/Solos/Book V （de Style）/9 to 15/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；中の表紙 署名の端しか見えない；元の印刷譜をノートに切り貼りした状態；色づけ，書込みあり
21392	Concone	15 Etudes Dialoguees a Quatre Mains pour le Piano, Op.38	London	自作表紙 Concone's/Duets/Book 2nd/15 Dialoguees/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；中の表紙 Mrs. E.S.Patton/1880；色づけ，書込みあり
21393	Concone	15 Etudes de Salon a Quatre Mains pour le Piano, Op.39	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte-Duets/Book 3/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；；色づけ，書込みあり；この楽譜に含まれるConfidencesという曲の色づけ手書き譜が挿まれている。その表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff
21394	Concone	10 Etudes Caracteristiques a Quatre Mains pour le Piano, Op.40	London	自作表紙 "Concone's"/Pianoforte Studies/Duets/Book 5/Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/142A Bluff；中の表紙Mrs. Patton 188?（紙破損）；書込みあり，一部色づけ
21397	Concone	10 Etudes Caracteristiques a Quatre Mains pour le Piano, Op.40	London	自作表紙 Concone's Duets/Book 5/10 Etudes caracteristiques；中の表紙 Mrs. E.S.Patton 142A Bluff；一部に色づけ，書込みあり
21396	Concone	15 Etudes Expressivies pour Piano, Op.44	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte Studies/Solos/Book III/（Expressives）/I to VII/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；元の印刷譜をノートに切り貼りした状態；色づけ，書込みあり
21619	Concone	10 Etudes d'Expression a Quatre Mains Op.45	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte Duets/Book 4/10 （Expressive Studies）/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；一部色づけ，書込みあり
21390	Concone	15 Etudes Elementaires a Quatre Mains pour le Piano, Op.46	London	自作表紙 Concone's/1st Book/of/Piano-forte Duets/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；色づけ
21391	Concone	15 Etudes Elementaires a Quatre Mains pour le Piano, Op.46	London	自作表紙 Concone's/Pianoforte Duets/Book I/15 （Melodiques Studies）/Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；中の表紙 Mrs. E.S.Patton/1893；色づけ，日付記入
21544	Concone	10 Etudes Dramatiques a Quatre Mains pour le Piano, Op,58	Meyence	自作表紙 Concone's Duets/Book 6；書込みあり
21400	Cramer	J.B.Cramer's forty two Studies for the Piano Forte, Book 1	London	表紙欠；書込みあり
21624	Cramer	J.B.Cramer's forty two Studies for the Piano Forte, Book 2	London	表紙右上 Mrs. Patton 1885
21388	Croisez	Rhythm & Expression Op.65	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/25/Croisez/Rhythm & Expression/Studies
21389	Croisez	Rhythm & Expression Op.65	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/47A Bluff/Croisez's/25/Expression/Studies；書込みあり，一部色づけ
21383	Czerny	101 Preparatory Exercises Op.261	London	自作表紙：Mrs. E.S.Patton/47A Bluff/Czerny's/101/Exercises；中のタイトルページ（鉛筆）：Regie H. Patton/1875；書込みあり

表３　パットン所蔵の五線譜（続き）

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21614	Czerny	New Preparatory Exercises for Scales and Octaves Op.299		自作表紙 Czerny's/Etudes de la velocite/Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；Xmas1884（p.13）等の書込みあり
21574	Czerny	The Morning Practice Op.337	London	もとの表紙欠；表紙裏 Japan Gazette 1891/2/20が挟まっている；ソルファ譜書込みあり
21401	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School I-1	London	日付の書込みあり
21402	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School I-2	London	書込みあり
21403	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School I-3	London	表紙欠；書込みあり
21404	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School I-4	London	書込みあり
21405	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School I-5	London	書込みあり
21406	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School I-6	London	書込みあり
21407	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-1	London	やや新しい違うデザインの表紙（=新版）；Kelly & Walsh Limitedの印
21407	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-2	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21408	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-2	London	自作表紙（鉛筆）II-2；中は新版，書込みあり
21409	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-3	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21410	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-3	London	新版；書込みあり
21411	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-5	London	自作表紙（無題）；裏表紙の内側 Curwen & SonsからMrs. Patton 142A Bluff, YOKOHAMA, JAPANへの宛名書きと切手；書込みあり
21412	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-5	London	新版；書込みあり
21413	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-6	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21414	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-6	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff；中は新版；書込みあり
21415	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-7	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21416	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-8	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21417	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-9	London	書込みあり
21418	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-10	London	書込みあり
21419	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-11	London	自作表紙 Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；書込みあり
21420	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-11	London	自作表紙（鉛筆）II-11；中は新版，書込みあり
21421	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-12	London	書込みあり，一部色づけ
21422	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-13	London	書込みあり
21423	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-14	London	書込みあり
21424	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-15	London	表紙右上 Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；書込みあり
21425	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-15	London	新版；書込みあり
21426	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-16	London	書込みあり

表3　パットン所蔵の五線譜（続き）

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21427	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-17	London	書込みあり
21428	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-17	London	表紙欠；書込みあり
21429	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-18	London	書込みあり
21430	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-19	London	書込みあり
21431	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-20	London	書込みあり
21432	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-24	London	新版；J.G.DOERINGの印
21433	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-26	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；中は新版
21434	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School II-26	London	新版；書込みあり
21435	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-1	London	Mrs. Pattonの署名の途中で紙が切れている
21436	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-2	London	書込みあり
21437	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-3	London	色づけ，書込みあり
21438	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-4	London	書込みあり
21439	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-5	London	自作表紙（鉛筆）Sec.III No.5；書込みあり
21440	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-6	London	書込みあり，一部色づけ
21441	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-7	London	書込みあり
21442	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-8	London	書込みあり
21443	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-9	London	表紙欠；書込みあり，一部色づけ
21444	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-10	London	書込みあり
21445	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-11	London	書込みあり
21446	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-12	London	書込みあり
21447	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-13	London	書込みあり
21448	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-14	London	書込みあり
21449	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-15	London	書込みあり，一部色づけ
21450	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-16	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；書込みあり，一部色づけ
21451	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-17	London	書込みあり
21452	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-18	London	書込みあり
21453	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-19	London	表紙欠；書込みあり
21454	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-20	London	書込みあり
21455	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-21	London	書込みあり
21456	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-22	London	書込みあり
21457	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-23	London	表紙欠；書込みあり
21458	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-24	London	新版

表3　パットン所蔵の五線譜（続き）

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21459	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-25	London	自作表紙 La/Contemplazione/By/Hummel/Sec:III/No:25；The piece Ada Bloxham took for her Examination for the Victorian scholarship；裏表紙（上下逆）Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；書込みあり
21460	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-26	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；書込みあり
21461	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-27	London	表紙欠；書込みあり
21462	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-28	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton；書込みあり
21463	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-29	London	書込みあり
21464	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School III-30	London	書込みあり
21465	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-1	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；書込みあり
21466	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-3	London	自作表紙　タイトルのみ；書込みあり
21602	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-4	London	自作表紙　タイトルの他 Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；中は新版で表紙にKelly & Walshの印；書込みあり
21467	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-5	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；書込みあり
21603	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-6	London	自作表紙　タイトルの他 Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21468	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-7	London	自作表紙　タイトルの他Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；書込みあり
21604	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-10	London	自作表紙　タイトルの他 Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/142A Bluff
21605	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-11	London	自作表紙　タイトルの他 Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/142A Bluff；書込みあり
21469	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-12	London	自作表紙（鉛筆）IV-12/（色鉛筆）Mrs. E.S.Patton/47A Bluff；書込みあり
21606	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-12	London	新版；Kelly & Walshの印
21470	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-13	London	表紙欠；書込みあり
21471	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-14	London	自作表紙　タイトルの他 Mrs. E.S.Patton/47A Bluff/Tonic Solf School of Music；書込みあり
21607	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-14	London	新版；J.G.DOERINGの印
21608	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-15	London	新版；Kelly & Walshの印
21609	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-16	London	自作表紙　タイトルの他 Mrs. E..S.Patton/47A Bluff；中は新版；書込みあり
21610	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-17	London	
21611	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-18	London	書込みあり
21612	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-19	London	
21472	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-20	London	表紙欠；書込みあり
21473	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-21	London	表紙欠；書込みあり
21474	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-22	London	書込みあり
21475	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-23	London	書込みあり

表3　パットン所蔵の五線譜（続き）

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21476	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-24	London	書込みあり
21477	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-25	London	
21478	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-26	London	書込みあり
21479	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-27	London	書込みあり
21480	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-28	London	書込みあり
21481	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-29	London	
21482	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-30	London	
21483	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-31	London	表紙欠；書込みあり
21484	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-32	London	書込みあり
21485	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-33	London	
21486	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-35	London	
21487	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-36	London	
21488	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-37	London	書込みあり
21489	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-38	London	
21613	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-39	London	
21490	Halle, Charles	Charles Halle's Practical Pianoforte School IV-40	London	
21601	Hamilton	Appendix to Hamilton's Tutor	London	色づけ，書込みあり
21386	Heller	25 Etudes pour Former au Sentiment du Rhythme et l'Expression, Book 1, op.47	London	表紙欠；タイトルページ右上 Mrs. Patton 1879；書込みあり
21500	Kuhlau	6 Sonatinen fuer Pianoforte zu vier Haenden, Op.44	Leipzig	表紙右上 Mrs. E.S.Patton/1885；書込みあり
21385	Lott	Arpeggios	London	表紙（鉛筆）：Mrs. E.S.Patton
21373	Mason, William	Touch and Technic. 1.Two-finger Exercises	Philadelphia	自作表紙付
21374	Mason, William	Touch and Technic. 2. Complete School of Scales	Philadelphia	自作表紙付；序文赤線引き，鉛筆書込みあり
21375	Mason, William	Touch and Technic. 3. Complete School of Arpeggios	Philadelphia	自作表紙付；鉛筆書込みあり
21376	Mason, William	Touch and Technic. 4. School of Octaves and Bravoura	Philadelphia	自作表紙付；Mrs. E.S.Patton/142A Bluff；赤線１ヶ所のみ
21508	Mendelssohn	Romances sans Paroles…pour Piano a 4 Mains	Braunschweig	表紙にMOUTRIE, ROBINSON & Co./YOKOHAMAのゴム印；タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印；書込みあり，一部色づけ
21509	Mendelssohn	Marche Nuptiale… pour Piano a 8 mains	Braunschweig	表紙にMOUTRIE, ROBINSON & Co./YOKOHAMAのゴム印
21503	Schumann	Pianoforte Album	London	表紙 Mrs. Patton/1882
21501	Weber	Compositionen fuer Pianoforte zu vier Haenden	Leipzig	表紙 Mrs. E.S.Patton/1885；書込みあり
21377	Wieck, Friedrich	Pianoforte Studien	Leipzig	表紙と最終ページにDOERINGのゴム印；書込みあり，一部色づけ
21569	Wieck, Friedrich	Pianoforte Studien	Leipzig	表紙にJ.G.DOERING/YOKOHAMAのゴム印；一部色づけ、書込みあり

表3　パットン所蔵の五線譜（続き）

無色は東京芸大所蔵；　網掛けは武蔵野音大所蔵

芸大受入番号	著者・作曲家	タイトル	出版地	備考
21368		Studies & Pieces for the Pianoforte, Contained in the Syllabus of the Associated Board of The Royal Academy of Music & The Royal College of Music for Local Examinations 1890-91, Senior Grade	London	Mrs. E.Patton from her affec????；Moutrie Robinson & Co/Shanghaiの印
21556		Classique de l'Enfance vol.1 Bach	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印
21557		Classique de l'Enfance vol.2 Beethoven	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印
21558		Classique de l'Enfance vol.3 Handel	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印
21559		Classique de l'Enfance vol.4 Haydn	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印
21560		Classique de l'Enfance vol.6 Schubert	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印
21561		Classique de l'Enfance vol.7 Weber	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印
21562		Classique de l'Enfance vol.9 Mendelssohn	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印；ソルファ譜他の書込みあり
21563		Classique de l'Enfance vol.8 Auteurs Divers	Braunschweig	タイトルページにENOCH & SONS//LONDONのゴム印；パットンの書込みあり
		A Catechism for the Pianoforte Student	London	書込みあり
		Primer of Pianoforte Playing	London	
		Beecham's Music Portfolio vol.1	London	2冊あり；1冊にはMrs. Hayの書込み
		The Glad New Year	London	2冊あり
		The Art of Playing at Sight	Angel Hill	五線譜の視唱
		The Harmonising of Melodies, second edition	London	五線譜の視唱

表4　パットン所蔵の資料（グレート試験要項・練習問題・手書き教材）

武蔵野音大所蔵

タイトル	種類	冊数	状態	書込み・備考
Elementary Certificate Work	試験要項＋試験問題　各生徒用	2	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff
First Grade Staff Notation Rhythms	試験要項＋試験問題　各生徒用	16	6冊表紙付、10冊バラ	Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff
Second Grade Rhythms for Staff Notation	同上	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/142A Bluff
Junior Certificate Work	試験要項＋試験問題　各生徒用	31	表紙つき	Mrs.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/No1B Nanking Rd
Work for the Intermediate Certificate	試験要項＋試験問題　各生徒用	4	1冊のみ 142A Bluff	Mrs.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/No1B Nanking Rd
Class Work for the Junior, Elementary, Intermediate, 1st and 2nd Grade Staff Notation and Elementary & Intermediate Theory Honor Certificates	試験要項＋練習問題	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton
Matriculation Certificate	試験要項＋試験問題（手書き）	1	表紙なし	Emily S.Patton 1881
Examination for the Intermediate Certificate	試験要項	2	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/47A Bluff
Second Grade Time-tests	試験問題	1	表紙つき	
Chord-naming A	練習問題	3	表紙なし，表紙あり2冊	表紙なし第一ページ右上赤字縦書：コードネーミング／第（?）十九；表紙あり2冊 47A Bluff
Chord-naming A and Chord-naming B	練習問題	1	表紙つき	Mrs.E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/142A Bluff
Chord-naming B	練習問題	50	5冊表紙あり、20冊は表紙ブランク、25冊は表紙なし	Tonic Sol-fa School of Music//Mrs. Patton/95 Chapoo Rd.//Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/142A Bluff//47A Bluff
Minor Mode Phrasese	練習問題	1	表紙つき	
Sight Singing Tests for Pupils Preparing for the Junior, Elementary & Intermediate Certificates	練習問題	11	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/47A Bluff/Tonic Sol-fa School of Music
Sight Singing Tests for Intermediate Certificate	練習問題または試験問題	多	表紙なし	
Specimens of Sight Singing Tests	練習問題	多	表紙なし	Mrs. E.S.Patton/63 Bluff
Specimen Tunes for Memory Tests	練習問題または試験問題	14	1枚の紙	
Junior Time Tests	練習問題または試験問題	多	1枚の紙	
Elementary Rhythms	練習問題	7	doppelbogen	Mrs. E.S.Patton/63 Bluff
Intermediate Rhythms	練習問題	14	doppelbogen	
Advanced Rhythms	練習問題	7	2 doppelbogen	Mrs. Patton/1886
Matriculation Certificate Test No.42		1セット	表紙なし	Latest Test
Staff Notation 3rd grade Test No.42		1セット	表紙なし	Latest Test
Staff Notation first stage Test No.38その他	各種練習問題		表紙なし	Latest Test
Examination for Staff Notation Certificate	試験要項	多		
Examination for the Matriculation Certificate	試験要項	多		
Examination for the Elementary Certificate	試験要項	多		
	試験要項各種		バラ	ブロクサムからパットンへの手紙つき 1897.7.13付 84B Bluff より
Certiricates issued in Japan	日本で証書を得た生徒のリスト	多		
Testimonies in Favour of the Tonic Sol-fa Method of Teaching Music	トニックソルファ・プロモーション・パンフ	多	バラ	

表4　パットン所蔵の資料（グレート試験要項・練習問題・手書き教材）（続き）

武蔵野音大所蔵

タイトル	種類	冊数	状態	書込み・備考
	証紙		バラ	We hereby certify that the accompanying exercises were written under our supervision, and that the following regulations were duly observed.
Exercixe Book/Matriculation Class/Mrs. Patton/Commenced October 6th 1881	手書き教材	2	表紙つき	
Class Book /Mrs. Patton/Commenced Sept. 20th/1881	手書き教材	1	表紙つき	
Choral Expression Studies		2	手書きソルファ譜	Tonic Sol-fa School of Music/47A Bluff
The Jolly Blacksmiths "Caprice Caracteristique" by Jean Paul	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/142A Bluff
Duet/Teufelsmarsch/by Franz von Suppe	4手用ピアノ　五線印刷譜　色つき	2	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/142A Bluff; 中表紙 Mrs. Patton 1886
Mendelssohn's Wedding March	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/142A Bluff
The Celebrated Valse and March from Faust	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton
Boccherini's Celebrated Minuett	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs.E.S.Patton/47A Bluff
Pianoforte Duet/Minuet by Paderewski	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs.E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/47A Bluff
Duet for Pianoforte/Mendelssohn's Duetto and Spring Song	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs.E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music/47A Bluff
Easy Seclections of Airs from Faust	ピアノ用ソルファ譜 色つき	1	表紙なし	Mrs. E.S.Patton/142A Bluff
Confidence. Premier Impromptu by Jules Schuloff	ピアノ用ソルファ譜 色つき	1	表紙なし	Mrs. E.S.Patton/Tonic Solfa School of Music;/142A Bluff
Simplette by E.Favarger	ピアノ用ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs.E.S.Patton/47A Bluff
Easy Classical Pieces in Tonic Sol-fa	ピアノ用ソルファ譜	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton
Concone's 1st Book of Pianoforte Studies for 4 Hands in Tonic Sol-fa	4手用ピアノ　ソルファ譜 色つき	1	表紙つき	Mrs. E.S.Patton/Bluff
手書き教科書	色つき	1	厚紙表紙つき	
Tonic Sol-fa/Piano-Forte Instruction Book by Mrs. E.S.Patton	手書き教科書　色つき	2	厚紙表紙つき	Mrs. E.S.Patton/Tonic Sol-fa School of Music/No.1B Nanking Rd.